

政策名	4環境にやさしい港	責任者	港営部 港営課長	連携担当課 (企画調整室)計画担当、環境担当 (港営部)海務課、(建設部)工事課・工事課施設工事担当、港湾工事事務所、施設事務所
基本施策名	06秩序ある港湾環境づくり			
個別施策名	18港湾エリア(臨港地区、港湾区域)を適正に開発・利用する			
事務事業名	05構築物建設、水域占用等の許可	連絡先	052-654-7871	

1 PLAN(目的・概要)

目的	申請等のあった構築物等を基準に適合した構築物の建設や水域の占用等を行うことにより港湾の開発又は管理に支障が生じないようにします。	事業期間	昭和40年度～継続
概要	臨港地区内・港湾区域内における一定の行為(工場・事業所の新設又は増設、水域占用等)に対し、関係法令に基づいて、各種審査を実施し、許可等を行います。	根拠法令・要綱等	港湾法、名古屋港臨港地区内の分区分における構築物の規制に関する条例、名古屋港の港湾区域又は港湾隣接地域内における行為の許可に関する条例、同規則
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・法令に基づき事業者等から各種申請等を受け、内容を審査のうえ許可等を行います。また、申請の前段階においては、手続きを円滑に進めるため事前相談を受け、リーフレット等を用い規制内容や手続きの流れについて説明を行うとともに、随時、臨港地区等の規制に関する問い合わせや相談に応じます。さらに、必要に応じて申請・許可等にかかる現地確認を行います。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
年間処理件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-	事業者からの申請等に対する年間の処理件数
	件	実績	215	224	166	148			
	単位	目標							
		実績							
事業費	千円	0	0	0	0	0			
人員	正規職員	人	5.20	5.20	5.20	5.20	5.20		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	45,162	45,604	44,626	44,101	45,588			
事業費・人件費の合計	千円	45,162	45,604	44,626	44,101	45,588			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
適正処理率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	適正処理件数÷処理件数
	%	実績	100.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0				
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無							
	目的・水準の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input type="radio"/> 無							
	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無							
効率性	内容の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	実施主体の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	受益者負担の適正性	有・ <input type="radio"/> 無							
	経済性	有・ <input type="radio"/> 無							

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	港湾の秩序ある開発・利用には不可欠であり、引き続き成果を維持していく必要があるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
臨港地区の規制内容に関する情報の提供や手続きの説明をホームページやリーフレットで行なっていますが、引き続きよりわかりやすい内容となるよう必要な見直しを行うとともに、事業者への説明もより丁寧に行うよう努めます。			